


第55期 第2四半期 報告書


平成27年3月1日 ▶ 平成27年8月31日





営業収益・営業利益とも過去最高を更新。
「GMS業界ナンバーワン」をさらに目指してまいります。

代表取締役社長
山西泰明



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期における我が国経済は、緩やかな回復基調が継続する一方で、海外経済の変調懸念が強まり、先行き不透明な状況で推移しました。小売業界では、消費者の選択的消費志向が継続し、厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社グループにおいては、実行方針である“お客様のために尽くす”のもとに、競争力のある品揃えをより拡充し、売場への付加価値を高める取り組みを推進しました。

店舗面では、4年ぶりとなる大型SC「ゆめタウン廿日市」を6月に、佐賀県3店舗目となる「ゆめマートさが」を8月に新設しました。いずれもオープン直後から高い集客力を発揮し好調なスタートを切っております。さらに既存店では、4月に「ゆめタウン光の森」を増床リニューアルし、9月からは「ゆめタウン山口」の増床リニューアルを進めております。

一方、M&Aに関しては、9月に広島県地盤の食品スーパー「株式会社ユアーズ」と資本業務提携契約書を締結し、提携内容について、スピードをもって推し進めております。また前期に連結子会社化した「株式会社スーパー大栄」及び「株式会社広栄」に対しては、協働して既存店活性化に取り組むことで、グループの営業収益増加に寄与しました。

セグメント別業績について、コア事業である小売事業は、二極化する消費行動に対応するため、品質、鮮度、安全性が高い商品を値ごろに提供する“いいものを安く”にさらに磨きをかけてきました。また地域特性に応じて、投入商品や価格設定を見直し、原価低減活動を通じてより競争力ある商品を提供しました。そして月・週単位での販売動向に応じて重点販売商品を投入するなどして、販売増加に繋がりました。店舗面では「ゆめタウン廿日市」「ゆめマートさが」の新設に加え、既存店で食品などの直営売場を拡張し品揃えを強化するとともに、テナントの入替を推進するなどの活性化施策を積極的に実施し、店舗競争力をさらに強化しました。

小売周辺事業では、電子マネー「ゆめか」の利用拡大やショッピング時のクレジット利用を推し進めるとともに、「ゆめタウン廿日市」などでの新規会員獲得や地域限定「ゆめか」の発行などにより地域通貨としての地位を高め、お客様の利便性の向上とレジ業務の生産性改善に努めました。これらにより、取扱手数料収入の拡大に加え、小売事業への集客力向上にも寄与しました。

当社グループにおきましては今後も「GMS業界ナンバーワン」をめざし、お客様満足度をさらに追及していく所存です。

株主の皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を。
地域になくなくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

営業収益

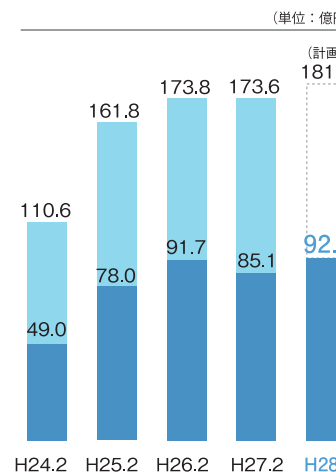
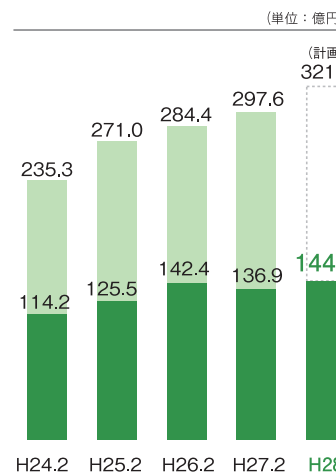
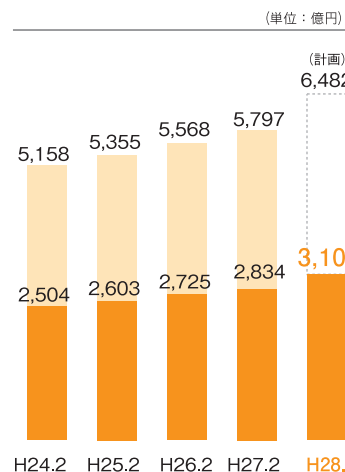
| | |
|----------|--------|
| 3,105 億円 | 前年同期比 |
| | 109.6% |

経常利益

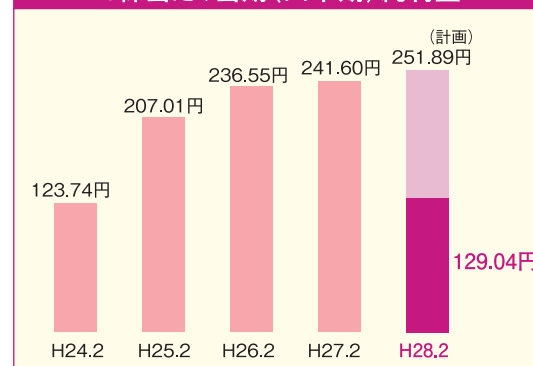
| | |
|----------|--------|
| 144.2 億円 | 前年同期比 |
| | 105.3% |

四半期純利益

| | |
|---------|--------|
| 92.5 億円 | 前年同期比 |
| | 108.7% |

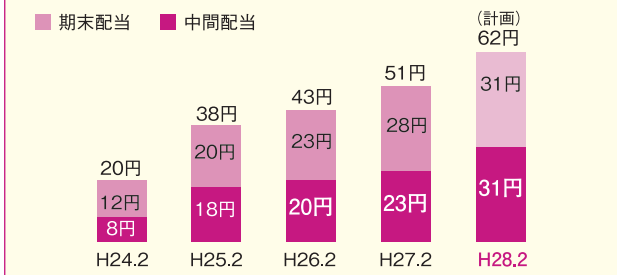


1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金

過去最高益の更新に当たり、1株当たり配当金を以下のとおり増配とさせていただきます。



店舗戦略 進化し、深化する「youme」を

6月11日「ゆめタウン廿日市」 イズミ史上、最高&最大級の夢咲くオープン。

イズミが約5年間の月日をかけて廿日市市と共に周到に準備してきた「ゆめタウン廿日市」が、6月11日、グランドオープンしました。

店舗の規模もテナント店舗数も中四国最大級!

広島初やイズミ初の新しいショップ・サービス・取り組みも、店内いっぱいにちりばめました。

イズミと地域が一体となってオープンさせた、最高&最大級のゆめタウンです。



店舗概要

敷地面積/約51,000㎡ 延床面積/約179,000㎡
店舗面積/約46,000㎡ 駐車台数/約3,400台

驚きと感動 その1 回遊性と快適性を確保した グランドデザイン

店内メインモールは1階から3階までの吹き抜けでタテに開放し、各フロアは一周550mのサーキットモールでヨコ方向への回遊性を確保しました。
こうした計画的なグランドデザインにより、オープン時の賑わいの中でも、高い快適性と回遊性を確保しました。



驚きと感動 その2 三世代が安心して楽しめる しかけの数々

ゆめタウン廿日市は、三世代のライフニーズにとことんこだわってきたゆめタウンの経験を至る所に生かした設計になっています。
店内あちこちにある居心地の良いレストスペースや、小さなお子さまにも安心なファミリートイレエリアなど、共用部のサービス設備も、三世代でのご利用を強く意識しています。
パウダールームやフードコートにも三世代への思いやりがいっぱい。



フードコート



パウダールーム

驚きと感動 その3 すべての人にやさしい店舗への 取り組み

店内サインのデザインや配置を誰もがわかりやすいようにユニバーサル化を徹底することを始め、介助用インターフォンや車椅子専用駐車場も多数配置し、車椅子ご利用の方にも快適にご来店いただけるよう配慮しています。また周辺道路から駐車場への動線は特にきめこまかく配慮した設計により、オープン時も渋滞することなく、スムーズな入店を実現しました。



店内サイン



介助用インターフォン



車輦誘導システム



4階駐車場へのダイレクトスロープ



column

新聞やテレビでも数多く報道されました。

ゆめタウン廿日市の開業は、周辺地域から廿日市市へ新たな需要を呼び込む拠点として、地域振興の上でも高い効果が期待されています。そのため日本経済新聞や中国新聞をはじめとする、マスコミ各社に数多く取り上げていただきました。

ゆめマートさが

平成27年8月27日
OPEN!

店舗概要 ・敷地面積/約11,500㎡ ・延床面積/約4,500㎡ ・店舗面積/約2,700㎡ ・駐車台数/約200台

県の政治経済の中心に近隣型SCとして初出店

「ゆめマートさが」は、江戸時代から城下町として栄え、今も県庁や地方裁判所、大学などが並ぶ市内中心地にオープンしました。
佐賀市内では、2006年に開業した「ゆめタウン佐賀」に続く2店目で、毎日のお買いまわりに特化した食品スーパーとのコンセプトで、毎日の暮らしに便利な新鮮食品や日用品を豊富に品揃えています。



ゆめタウン山口

平成27年9月10日
第1期 **OPEN!**

店舗概要 ・敷地面積/約48,400㎡ ・延床面積/約50,300㎡ ・店舗面積/約24,600㎡ ・駐車台数/1,500台

地域の圧倒的一番店へ、大増床リニューアル!

1997年オープンの「ゆめタウン山口」は、市内中心部と中国自動車道山口ICを結ぶ県道21号線沿いに立地し、周囲は市内からも周辺部からもアクセス容易なことから、これまで多くの皆さまにご利用いただいている地域一番店です。
このゆめタウン山口をさらに便利で快適な店舗に深化させるために、大型増床リニューアルの第1期工事が完成。さらに11月には、工事をすべて完了させグラウンドオープンする予定です。ゆめタウン山口は、地域一番店から、地域の圧倒的一番店になります。



今後
開業予定の
新店舗



互いの長所と経営資源、ノウハウをいかして

広島県地盤の食品スーパー「ユアーズ」を子会社化

2015年9月1日、イズミは広島県に本拠を構える株式会社ユアーズ(以下ユアーズ)と資本業務提携を契約し、子会社化しました。ユアーズは、現在広島県・岡山県・山口県・福岡県に計64店舗出店する、地元密着型の食品スーパーです。イズミと出店エリアが重なり、スケールメリットを活かしやすく、かつユアーズ店舗は小商圏型であるため、広域型大型店舗中心のイズミと競合関係が少なく、これまで以上にドミナンスを強化する効果があると判断しました。
これまで九州でおこなってきた業務提携と同様に、両社が対等の精神で信頼関係を構築し、自主性を尊重しつつ協働することで、地域のお客さまから一層の支持をいただけるものと期待しています。



女性も!男性も!やる気と勇気を育てる社内報 「ゆめCan NEWS」創刊

イズミでは、女性も男性も、すべての社員が夢を抱いて活躍できる職場を作っていきたいとの思いからさまざまな取り組みをしており、その一環として、新しい社内報「ゆめCan NEWS」を創刊しました。
内容は社員のキャリア形成の体験談や職場グループの活動報告など、ビジネスからマナー、日常生活にいたるまでの幅広いテーマを扱い、各社員のモチベーションとスキルアップをはかっています。



広島県発行のプレミアム付き商品券 2015年11月25日(水)から、 「HIROCA」が広島県店舗で使えます

広島県では地域創生を目的として今年11月25日より、広島県プレミアム付き商品券「HIROCA」を使ったお買い物ができます。広島県内のゆめタウン・ゆめマートや一部のテナントにおいても利用が可能になります。利用は2016年2月28日までです。また、プレミアム付き商品券としての利用が終了後は、「地域電子マネー HIROCA」として引き続き利用できます。なお、同カードには「ゆめかIC」も搭載されており、通常の「ゆめか」同様に利用できる複合機能付カードとなります。



ともに「夢」を育てるイズミグループ

you me
マート

更なる経営効率の向上を図り、お客様に喜んでいただける
お店作りを進めます。

株式会社 ゆめマート

(株)ゆめマートは、本年6月18日、熊本市にゆめマート新外を新規オープンいたしました。また、9月1日には熊本市に4店舗を展開しております(株)広栄と合併し、熊本県下に24店舗を展開しております。店舗数の増加に伴い、更なる経営効率の改善を図り、お客様に喜んでいただけるお店作りを推進してまいります。特に、地域のお客様の要望に則した、地元熊本の美味しくて鮮度の良い商品を提供してまいります。



牛深港直送鮮魚



ゆめマート新外

you me
ゆめカード

ゆめJCBカード(ディズニー・デザイン)発行開始!
若年層の新規開拓を進めます。

株式会社 ゆめカード

2015年度はクレジットカード会員数120万人(前年+10万人)を目指し、入会促進強化を図っています。その最大の取組みとして2015年5月23日より、「ゆめJCBカード(ディズニー・デザイン)」を発行開始し、若年層の新規開拓を進めています。

ゆめカードは、JCBブランドの発行ライセンスを有する会社として初めて、ミニーマウスをデザインしたカードを発行しました。

今後も、メイン事業であるクレジットカードの促進に取り組んでまいります。



©Disney

2015年9月末時点で
発行枚数5万枚突破!

YT

イズミテクノは外部への業務拡大に挑戦しながら
地域文化の発展にも協力しています。

株式会社 イズミテクノ

イズミテクノは広島県立美術館、縮景園の管理、運営を指定管理者として行なっています。

この秋、縮景園では「もみじまつり」を開催し、広島県立美術館では京都市美術館名品展(10/31~12/23)を開催。京都市美術館所蔵の日本画作品の中から厳選した、明治から昭和にいたる女性像の様々な表現と変遷を紹介いたします。展覧会期間中は、京都市美術館名品展のチケット提示で縮景園を散策できます。

ぜひ縮景園、美術館に足を運んでみてください。



京都市美術館名品展



縮景園紅葉

ゆめタウン山口に4店舗が新規・改装オープン!

イズミ・フード・サービス 株式会社

2015年9月10日ゆめタウン山口の増床オープンにあわせて、リニューアルされたフードコートに大阪王将が新たにオープン、31アイス、TAKO ICHIBAN、OKONOMI ICHIBANCHIの3店舗が改装オープンいたしました。

オープン後、ゆめタウン山口に来店された多くのお客様のご支持をいただき、業績は好調に推移しております。

当社は今後とも、出店・改装に積極的に取り組み、お客様の満足度向上をめざしてまいります。



業績ハイライト

| | | | | | |
|------|--------------|------|--------------|--------|--------------|
| 営業収益 | 3,105 億円 | 経常利益 | 144.2 億円 | 四半期純利益 | 92.5 億円 |
| | 前年同期比 109.6% | | 前年同期比 105.3% | | 前年同期比 108.7% |

連結決算の推移

単位: 百万円

| | 通期 | | | 第2四半期 | |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 平成26年2月 | 平成27年2月 | 平成28年2月計画 | 平成26年8月 | 平成27年8月 |
| 営業収益 | 556,852 | 579,739 | 648,200 | 283,405 | 310,579 |
| 前年同期比 | 104.0% | 104.1% | 111.8% | 104.0% | 109.6% |
| 営業利益 | 29,100 | 30,330 | 33,300 | 13,770 | 14,761 |
| 前年同期比 | 104.1% | 104.2% | 109.8% | 94.1% | 107.2% |
| 経常利益 | 28,446 | 29,767 | 32,100 | 13,690 | 14,421 |
| 前年同期比 | 105.0% | 104.6% | 107.8% | 96.1% | 105.3% |
| 当期(四半期)純利益 | 17,384 | 17,360 | 18,100 | 8,515 | 9,258 |
| 前年同期比 | 107.4% | 99.9% | 104.3% | 92.8% | 108.7% |
| 総資産 | 397,071 | 432,416 | — | 419,039 | 436,837 |
| 純資産 | 130,178 | 145,709 | — | 137,452 | 151,380 |
| 1株当たり(四半期)利益 | 236.55円 | 241.60円 | 251.89円 | 118.51円 | 129.04円 |
| 1株当たり純資産 | 1,672.92円 | 1,876.22円 | — | 1,773.17円 | 1,967.56円 |

[参考] 単体決算の推移

単位: 百万円

| | 通期 | | | 第2四半期 | |
|------------|---------|---------|-----------|---------|---------|
| | 平成26年2月 | 平成27年2月 | 平成28年2月計画 | 平成26年8月 | 平成27年8月 |
| 営業収益 | 535,492 | 557,074 | 596,800 | 273,628 | 294,616 |
| 前年同期比 | 104.2% | 104.0% | 107.1% | 104.7% | 107.7% |
| 営業利益 | 24,785 | 25,899 | 27,800 | 11,278 | 12,616 |
| 前年同期比 | 105.8% | 104.5% | 107.3% | 90.7% | 111.9% |
| 経常利益 | 23,941 | 25,058 | 26,500 | 10,790 | 12,209 |
| 前年同期比 | 106.7% | 104.7% | 105.8% | 90.4% | 113.2% |
| 当期(四半期)純利益 | 15,549 | 14,761 | 15,400 | 6,441 | 8,056 |
| 前年同期比 | 124.3% | 94.9% | 104.3% | 78.6% | 125.1% |
| 総資産 | 337,700 | 360,536 | — | 354,748 | — |
| 純資産 | 98,684 | 110,950 | — | 103,781 | — |
| 1株当たり配当金 | 43.00円 | 51.00円 | 62.00円 | 23.00円 | 31.00円 |

連結財務諸表

[連結] 貸借対照表

単位: 百万円

| (資産の部) | 前期末 | 当第2四半期末 | (負債の部) | 前期末 | 当第2四半期末 |
|-------------|----------|----------|---------------|----------|----------|
| | H27.2.28 | H27.8.31 | | H27.2.28 | H27.8.31 |
| 流動資産 | | | 流動負債 | | |
| 現金及び預金 | 13,380 | 10,076 | 支払手形及び買掛金 | 40,564 | 31,678 |
| 受取手形及び売掛金 | 28,540 | 30,584 | 短期借入金 | 20,387 | 24,611 |
| 商品及び製品 | 24,517 | 23,845 | 1年内返済予定の長期借入金 | 25,888 | 23,902 |
| 仕掛品 | 85 | 109 | 未払法人税等 | 6,987 | 5,833 |
| 原材料及び貯蔵品 | 383 | 407 | 賞与引当金 | 1,491 | 2,071 |
| その他 | 16,413 | 18,024 | 役員賞与引当金 | 37 | 28 |
| 貸倒引当金 | △ 627 | △ 660 | ポイント引当金 | 2,017 | 2,303 |
| 流動資産合計 | 82,692 | 82,388 | 商品券回収損失引当金 | 81 | 81 |
| 固定資産 | | | その他 | 36,640 | 30,922 |
| 有形固定資産 | | | 流動負債合計 | 134,096 | 121,433 |
| 建物及び構築物(純額) | 136,677 | 150,049 | 固定負債 | | |
| 土地 | 147,469 | 147,757 | 長期借入金 | 110,876 | 122,993 |
| その他(純額) | 20,015 | 12,640 | 役員退職慰勞引当金 | 1,405 | 1,452 |
| 有形固定資産合計 | 304,162 | 310,446 | 利息返還損失引当金 | 273 | 235 |
| 無形固定資産 | 7,985 | 8,226 | 退職給付に係る負債 | 8,193 | 6,778 |
| 投資その他の資産 | | | 資産除去債務 | 6,723 | 6,830 |
| その他 | 37,971 | 36,168 | その他 | 25,138 | 25,734 |
| 貸倒引当金 | △ 395 | △ 392 | 固定負債合計 | 152,610 | 164,024 |
| 投資その他の資産合計 | 37,575 | 35,776 | 負債合計 | 286,706 | 285,457 |
| 固定資産合計 | 349,723 | 354,449 | (純資産の部) | | |
| | | | 株主資本 | | |
| | | | 資本金 | 19,613 | 19,613 |
| | | | 資本剰余金 | 22,282 | 22,282 |
| | | | 利益剰余金 | 108,283 | 116,493 |
| | | | 自己株式 | △16,763 | △18,931 |
| | | | 株主資本合計 | 133,416 | 139,457 |
| | | | その他の包括利益累計額 | | |
| | | | その他有価証券評価差額金 | 1,785 | 1,547 |
| | | | 退職給付に係る調整累計額 | △383 | △354 |
| | | | その他の包括利益累計額合計 | 1,402 | 1,193 |
| | | | 少数株主持分 | 10,890 | 10,729 |
| | | | 純資産合計 | 145,709 | 151,380 |
| 資産合計 | 432,416 | 436,837 | 負債純資産合計 | 432,416 | 436,837 |

資産・負債の状況

| | |
|-----|--------------|
| 総資産 | 4,368億円 |
| | 前期末比 ▶44億円増加 |

- ・当第2四半期の設備投資額は12,714百万円であり、これは主に店舗新設等によるものです。その結果、有形固定資産は、減価償却実施後で6,284百万円増加しました。
- ・現金及び預金は、前期末日が銀行休業日であったために資金決済が翌月初に持ち越されたこと等で3,303百万円減少しました。
- ・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加等により、2,044百万円増加しました。

負債

| | |
|----|--------------|
| 負債 | 2,854億円 |
| | 前期末比 ▶12億円減少 |

- ・支払手形及び買掛金は、前期末日が銀行休業日であったために資金決済が翌月初に持ち越されたこと等で8,885百万円減少しました。
- ・退職給付に係る負債は、会計方針の変更等により、1,414百万円減少しました。
- ・未払法人税等は、当第2四半期中の納付により、1,154百万円減少しました。
- ・短期借入金及び長期借入金は、14,354百万円増加しました。

純資産の状況

| | |
|-----|--------------|
| 純資産 | 1,513億円 |
| | 前期末比 ▶56億円増加 |

- ・利益剰余金は、配当支出により減少したものの、内部留保額の上積み等により8,209百万円増加しました。
- ・自己株式は、期中に372千株取得(買取請求分を含む)しました。その結果、自己株式の残高は前期末に比べて2,168百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は32.2%となり、前期末の31.2%に比べて1.0ポイント上昇しました。

連結財務諸表

[連結]損益計算書

単位:百万円

| | 前第2四半期 H26.3.1~H26.8.31 | 当第2四半期 H27.3.1~H27.8.31 |
|-------------------|----------------------------|----------------------------|
| 営業収益 | 283,405 | 310,579 |
| 売上高 | 270,138 | 296,543 |
| 売上原価 | 212,392 | 232,981 |
| 売上総利益 | 57,745 | 63,562 |
| 営業収入 | 14,035 | 14,035 |
| 営業総利益 | 71,012 | 77,598 |
| 販売費及び一般管理費 | 57,242 | 62,837 |
| 営業利益 | 13,770 | 14,761 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 73 | 74 |
| 仕入割引 | 153 | 159 |
| 持分法による投資利益 | 368 | 24 |
| その他 | 333 | 420 |
| 営業外収益合計 | 928 | 679 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 830 | 765 |
| その他 | 178 | 253 |
| 営業外費用合計 | 1,009 | 1,019 |
| 経常利益 | 13,690 | 14,421 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 2 |
| 投資有価証券売却益 | — | 930 |
| 負ののれん発生益 | 19 | 18 |
| 補助金収入 | — | 359 |
| 特別利益合計 | 22 | 1,311 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 41 | 17 |
| 固定資産除却損 | 180 | 115 |
| 減損損失 | — | 83 |
| その他 | 11 | 45 |
| 特別損失合計 | 232 | 261 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13,479 | 15,470 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,728 | 5,707 |
| 法人税等調整額 | 138 | 580 |
| 法人税等合計 | 4,866 | 6,287 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 8,612 | 9,183 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 96 | △ 75 |
| 四半期純利益 | 8,515 | 9,258 |

イズミグループの状況

グループシナジーを追求し、 企業価値の増大を目指します。

イズミグループは、当社、連結子会社12社及び持分法適用会社5社(平成27年8月31日現在)で構成され、小売業を中核に、小売周辺事業及びその他の事業を展開しております。各グループ企業がその事業領域を明確にし、シナジー効果を追求することで、さらなる企業価値の増大を図ってまいります。



損益の状況

営業収益 **3,105億円** 前年同期比 ▶109.6%

- ・営業収益のうち、売上高は前年同期比9.8%増の、296,543百万円となりました。これは、堅調な既存店販売、新設店舗による販売増に加え、新規連結子会社の寄与によるものです。
- ・売上総利益は、売上高対比で21.4%となり前年並みで推移しました。
- ・販売費及び一般管理費は、連結子会社の増加、新設店舗の創業経費や人件費などが増加した一方、堅実なコントロールに努め、62,837百万円となりました。
- ・これらの結果、営業利益は前年同期比991百万円(7.2%)増加の14,761百万円となり、売上高対比は5.0%と前年同期に比べて0.1ポイント低下しました。

経常利益 **144.2億円** 前年同期比 ▶105.3%

- ・営業外収益は、スーパー大栄を持分法適用会社より連結子会社としたことで、持分法による投資利益が減少し、前年同期比249百万円減少の679百万円となりました。一方、営業外費用は前年同期比10百万円増加の1,019百万円となりました。
- ・これらの結果、経常利益は前年同期比730百万円(5.3%)増加の14,421百万円となりました。売上高対比は4.9%と前年同期に比べて0.2ポイント低下しました。

四半期純利益 **92.5億円** 前年同期比 ▶108.7%

- ・四半期純利益は前年同期比742百万円(8.7%)増加の9,258百万円となりました。売上高対比は3.1%と前年同期に比べて0.1ポイント低下しました。

[連結]キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

| | 前第2四半期 H26.3.1~H26.8.31 | 当第2四半期 H27.3.1~H27.8.31 |
|--------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13,479 | 15,470 |
| 減価償却費 | 6,324 | 6,871 |
| 減損損失 | — | 83 |
| のれん償却額 | 57 | 85 |
| 負ののれん発生益 | △ 19 | △ 18 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △ 34 | 88 |
| 受取利息及び受取配当金 | △ 117 | △ 126 |
| 支払利息 | 830 | 765 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △ 368 | △ 24 |
| 補助金収入 | — | △ 359 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | 6 | △ 913 |
| 固定資産売却損益(△は益) | 38 | 14 |
| 固定資産除却損 | 180 | 115 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △ 3,548 | △ 2,044 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 2,229 | 623 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 19,919 | △ 8,885 |
| その他 | 5,193 | △ 4,621 |
| 小計 | 44,171 | 7,124 |
| 利息及び配当金の受取額 | 122 | 131 |
| 利息の支払額 | △ 760 | △ 807 |
| 補助金の受取額 | — | 359 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △ 5,173 | △ 6,845 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 38,359 | △ 36 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 9,275 | △ 14,015 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 40 | 134 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 528 | △ 752 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △ 418 | △ 907 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 22 | 2,288 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △ 623 | — |
| 短期貸付金の増減額(△は増加) | △ 204 | △ 142 |
| その他 | △ 520 | 60 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 11,506 | △ 13,334 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △ 14,658 | 4,223 |
| 長期借入れによる収入 | 8,800 | 23,650 |
| 長期借入金の返済による支出 | △ 12,507 | △ 13,519 |
| 自己株式の取得による支出 | △ 0 | △ 2,168 |
| 配当金の支払額 | △ 1,652 | △ 2,012 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △ 28 | △ 28 |
| その他 | △ 18 | △ 78 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 20,066 | 10,067 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 6,786 | △ 3,303 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,800 | 12,990 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 13,586 | 9,686 |

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー **0.3億円の支出**

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

- ・主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益15,470百万円、減価償却費6,871百万円です。
- ・主な支出項目は、仕入債務の減少額8,885百万円、法人税等の支払額6,845百万円及び売上債権の増加額2,044百万円です。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスですが、これは主に期末日の曜日の影響により、債権債務が変動したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー **133億円の支出**

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出14,015百万円です。これは主に、店舗新設等によるものです。
- ・主な収入項目は、投資有価証券の売却による収入2,288百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー **100億円の収入**

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

- ・主な収入項目は、短期借入金の純増減額4,223百万円、長期借入金による収入23,650百万円です。
- ・主な支出項目は、長期借入金の返済による支出13,519百万円、自己株式の取得による支出2,168百万円及び配当金の支払額2,012百万円です。

現金及び現金同等物の残高 **96億円**

■ 会社概要 (平成27年8月31日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員 正社員 2,388名
 パートタイマー 4,936名(1日8時間換算)
 店舗数 103店舗(エクセル単独店舗10店舗含む)

■ 中国地方 62店

広島県 34店 岡山県 10店
 山口県 12店 島根県 6店

■ 九州地方 30店

福岡県 14店 佐賀県 3店
 大分県 2店 長崎県 2店
 熊本県 9店

■ その他 11店

香川県 3店 兵庫県 3店
 徳島県 1店 その他 4店

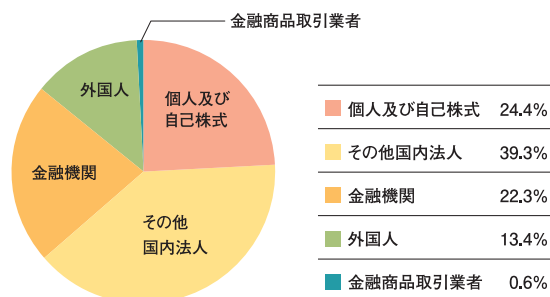
■ 役員一覧 (平成27年8月31日現在)

取締役会長 山西 義政
 代表取締役社長 山西 泰明
 専務取締役 梶原 雄一朗
 専務取締役 三家本 達也
 取締役 中村 豊三
 取締役 相田 美砂子
 取締役 米田 邦彦
 常勤監査役 川本 邦昭
 監査役 松原 治郎
 監査役 通堂 泰幸

■ 株式の状況 (平成27年8月31日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 78,861,920株
 株主数 4,022名
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況

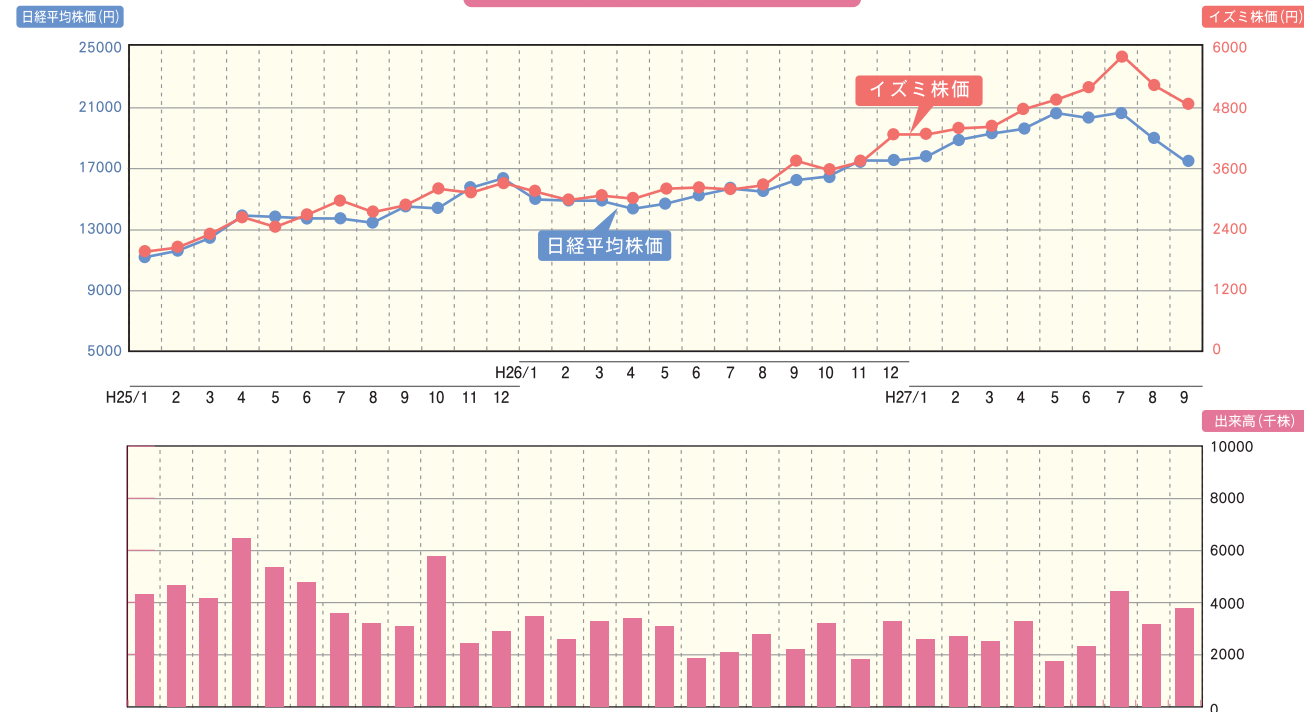


■ 大株主の状況 (平成27年8月31日現在)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--------------------------|----------|-------|
| 山西ワールド(株) | 19,935千株 | 27.9% |
| 第一不動産(株) | 4,208千株 | 5.9% |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) | 2,551千株 | 3.6% |
| (株)広島銀行 | 2,362千株 | 3.3% |
| イズミ広島共栄会 | 2,138千株 | 3.0% |
| 日本生命保険(相) | 2,092千株 | 2.9% |
| 山西 泰明 | 2,035千株 | 2.8% |
| 第一生命保険(株) | 2,030千株 | 2.8% |
| 全国共済農業協同組合連合会 | 1,495千株 | 2.1% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) | 1,453千株 | 2.0% |

(注)持株比率は、自己株式(7,375千株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



■ 株主優待制度

■ 株主ご優待券またはギフト券

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下の通りお贈りいたします。

| ご所有株式数 | 株主ご優待券 | ギフト券 |
|-----------|-------------------|----------|
| 100株以上 | 10枚 (2,000円相当) | 500円相当 |
| 200株以上 | 15枚 (3,000円相当) | |
| 300株以上 | 20枚 (4,000円相当) | |
| 400株以上 | 25枚 (5,000円相当) | |
| 500株以上 | 30枚 (6,000円相当) | |
| 1,000株以上 | 50枚 (10,000円相当) | 2,000円相当 |
| 2,000株以上 | 100枚 (20,000円相当) | |
| 3,000株以上 | 150枚 (30,000円相当) | |
| 4,000株以上 | 200枚 (40,000円相当) | |
| 5,000株以上 | 250枚 (50,000円相当) | |
| 6,000株以上 | 300枚 (60,000円相当) | |
| 8,000株以上 | 400枚 (80,000円相当) | |
| 10,000株以上 | 500枚 (100,000円相当) | |

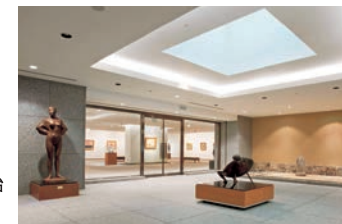
※「株主ご優待券」は、2千円以上のお買上につき、2千円ごとに各1枚(200円割引券)をご使用いただけます。

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

平成27年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

本物の文化とやすらぎを…。

公益財団法人 **泉美術館**



■ 開館時間
 午前10時から午後5時
 (入館は午後4時30分まで)

■ 休館日
 月曜日(祝祭日は開館)、年末年始
 ※展示替えによる臨時休館あり

■ 住所
 〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階
 TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>

株主メモ

| | |
|--------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年3月1日から翌年2月末日まで |
| 定時株主総会 | 毎年5月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |
| 上場金融商品取引所 | 東京証券取引所市場第一部 |
| 株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| [郵便物送付先] ^(※) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| [電話照会先] ^(※) | ☎ 0120-782-031 |

(※) 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。